

新幹線プレス

2021年9月11日 No.536

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

年間休日が減らされていた!? 山口さんが苦情申告!!

SEKに出向した山口さんが一年間の休日数を確認してみたところ、JR東海が出向時に説明した120日ではなく、113日しかありませんでした。

苦情申告票

年間休日について

私は、2020年8月1日より、SEK東京支社第二修繕（仕業検査）出向となりました。

JR東海から提示された労働条件には年間休日が120日となっていました。しかし、2020年8月から2021年7月までの年間休日は特休62、公休51と113日しかありませんでした。また、2020年4月から7月までJRに勤務していましたが、2020年4月から2021年3月までの年間休日は特休61、公休53と114日しかありませんでした。

SEKでは労働時間によって特休を調整するというのですが、出向に行くときにJR東海からの「出向先での就労条件」にはそのような記載、説明はありませんでした。これは重大な契約違反であるため7日間の休日を求める。できない場合はJR本体に戻すことを求める。

不審に思った山口さんがSEKに問い質したところ、SEKの回答は「仕業検査の基準労働時間が足りないから調整となる」というものでした。

納得できない山口さんは、新幹線鉄事・人材開発室に問い合わせましたが、人材開発室の担当者は要領の得ない回答に終始しました。

山口さんは、やむなく、幹鉄事に対して苦情申告しました。

出向時の労働条件説明と

実際の労働条件が違うなどということがあってはなりません。

他の職場でも同様の事象が発生!!

メンテックカンザイに出向した組合員も「年間休日が105日」と労働条件の説明を受けましたが、実際は月に6日しか休日がありません。

このペースだと年間休日は72日という事になります。